

【表紙】

【提出書類】	半期報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	令和 5 年 9 月29日
【中間会計期間】	自 令和 5 年 1 月 1 日 至 令和 5 年 6 月30日
【発行者の名称】	B N G銀行N . V . (BNG Bank N.V.)
【代表者の役職氏名】	最高経営責任者 執行委員会法定構成員 G.J. Salden
【事務連絡者氏名】	弁護士 黒 丸 博 善 弁護士 奥 村 文 彦
【住所】	東京都港区六本木六丁目10番 1 号 六本木ヒルズ森タワー23階 T M I 総合法律事務所
【電話番号】	(03)6438-5511
【縦覧に供する場所】	該当なし

- 注(1) 本書中、別段の記載がない限り、「ユーロ」または「EUR」と表示される金額は、欧州連合条約により改正された欧州共同体を設立する条約に従い単一通貨を採択した欧州連合加盟国の法定通貨を意味する。2023年 9 月22日現在、東京の主要銀行により公表されたユーロに対する日本円の為替相場の中値は 1 ユーロにつき157.40円であった。
- (2) 以下、B N G銀行N . V .を「BNG銀行」または「発行者」という。
- (3) BNG銀行の事業年度およびオランダ王国の予算会計年度は暦年である。
- (4) 本書中の表で、計数が四捨五入されている場合、合計は計数の総和と必ずしも一致しないことがある。

第 1 【募集(売出)債券の状況】

該当事項なし

第2 【発行者の概況】

1 【概況】

BNG銀行は、上半期において好調を維持し、純利益は1億4,100万ユーロ（2022年上半期：2億600万ユーロ）となった。これには主に中核的な損益が寄与しており、利息損益は2023年上半期に2億6,900万ユーロ（2022年上半期：2億2,000万ユーロ）となった。純利益は、2023年上半期に6,500万ユーロ減少したが、これは昨年度の金融取引損益が当年度を1億2,000万ユーロ上回っていたためである。

BNG銀行は、2023年上半期に新たに60億ユーロの長期貸付け（2022年上半期：66億ユーロ）を行った。地方自治体に対する貸付総額は前年度より15億ユーロ減少したが、BNG銀行はネットワーク企業など他の部門にクレジット・ファシリティにより10億ユーロ超を供与した。信用需要を満たすため、BNG銀行は112億ユーロ（2022年上半期：88億ユーロ）の長期資金を調達した。

株主資本利益率は、純利益が減少したため、9.5%から6.3%に低下した。しかしながら、目標の2.7%を大幅に上回った。利息損益は2億6,900万ユーロで、2022年上半期の損益より4,900万ユーロ増加した。この損益は、顧客がより長期の融資をBNG銀行から受けたこと、金利が上昇したことから、プラスの影響を受けた。

2022年上半期と比べ、手数料損益は400万ユーロ増加し1,300万ユーロとなった。400万ユーロ増加した主因は、財務活動による受取手数料である。受取手数料には、支払取引手数料および約定手数料も含まれる。

2023年上半期の金融取引損益は2,800万ユーロの損失（2022年上半期：9,200万ユーロの利益）であった。2023年上半期には、特に米国において、信用および流動性スプレッドの拡大ならびに金融不安が見られた。これらの要因は、金融商品の評価にマイナスの影響を与えた。BNG銀行の流動性ポートフォリオの売却による実現損益は、2023年上半期には600万ユーロの損失（2022年上半期：4,000万ユーロの利益）であった。最後に、利付有価証券の信用部分の再評価に伴い、1,000万ユーロの損失が計上された。

連結営業費用は、2023年上半期に1,000万ユーロ増加し6,400万ユーロとなった。これは主に、ITへの投資ならびに顧客のインテグリティおよび商業部門の全体的な強化のための追加職員の配置によるものである。

報告期間における金融資産の減損損益は1,100万ユーロの利益（2022年上半期：1,400万ユーロの利益）であった。この主たる原因は1件の決済であった。BNG銀行の予想信用損失引当金の総額は、主に貸付金が償却されたため、2023年上半期に4,300万ユーロ減少し1億2,000万ユーロとなった。ヘルスケア部門については、追加的な信用損失引当金が依然設定されており、この措置が引き続き必要であるかを決定するために、下半期に掘り下げた調査が行われる予定である。

2023年6月30日現在、法人所得税費用は4,700万ユーロであった。これは前年度より1,900万ユーロ減少しているが、税引前利益の減少によるところが大きい。

BNG銀行の2023年度の欧州破綻処理基金への拠出額は、2022年度の拠出額より600万ユーロ少ない1,400万ユーロであった。2021年12月31日現在の貸借対照表価額が大幅に減少したことも、拠出額が減少した一因であった。

貸借対照表の動向

貸借対照表総額は、2023年上半期に162億ユーロ増加し1,283億ユーロとなった。これは、2022年度末よりも多くの短期流動性資産が貸借対照表に計上されていたためであった。

報告期間において、配当を1億3,900万ユーロ分配したにもかかわらず、BNG銀行の株主資本は46億ユーロと変わらないままであった。また、金利が上昇した結果、リスク加重された信用リスク・エクスポージャーが減少し、デリバティブの信用価値調整リスクが低下したため、リスク加重資産は114億ユーロから107億ユーロに減少した。BNG銀行の普通株式等Tier 1比率およびTier 1比率は、それぞれ38.5%および41.4%と、ほぼ横ばいであった。貸借対照表総額の増加に伴い、BNG銀行のレバレッジ比率は2022年度末の13.0%から8.9%に低下した。BNG銀行の流動性ポジションは非常に強固であり、これは流動性カバレッジ比率178.6%および安定調達比率126.3%で裏付けられている。BNG銀行の自己資本比率および流動性比率は、規制当局が設定した最低水準を依然として大幅に上回っている。

見通し

長期貸付けを巡る競争が激化している。当行はまた、高水準の流動性および投資の遅れのため、多数の地方自治体の借入要件が予想より低いことも注視している。したがって、BNG銀行は、ソルベンシー要件の対象とならない新規の長期貸付けを100億ユーロとする年間目標は、困難ではあるが達成可能と考えている。資金調達方針は引き続き、金融および資本市場に恒久的にアクセスし、可能な限り低金利で必要な期間および金額の資金を確保することに重点が置かれる。

BNG銀行の連結営業費用は当年下半期に増加する予定である。これは、インフレおよび厳しい労働市場におけるBNG銀行の外部請負業者の利用に伴う増加である。ITアプリケーションの設定および拡張のための追加費用により、ITコストは高止まりしている。最後に、2023年度の銀行税は、2022年12月31日現在の貸借対照表総額が減少した結果、2,200万ユーロと見積もられている。

将来の市場価値の変動および減損の動向は、当然ながら不確実である。したがって、BNG銀行は、2023年度の予想純利益について発表することは賢明でないと考えている。

2 【資本構成】

2023年 6 月30日現在のBNG銀行の資本構成（未監査）は以下のとおりである。

	2023年 6 月30日現在
	（未監査）
	（単位：百万ユーロ）
授權株式資本：2 億5,000万ユーロ	
資本金（発行済全額払込済）	139
資本準備金	6
利益剰余金	3,972
再評価剰余金	23
キャッシュフロー・ヘッジ準備金	8
自己信用調整	1
ヘッジコスト準備金	(9)
当期純利益	141
その他Tier 1 資本	309
負債証券	107,657
受託資金	5,626
劣後債務	18
資本合計	117,891

3 【組織】

2023年上半期中において、BNG銀行の組織に重大な変更はなかった。

4 【経理の状況】

BNG銀行の連結中間財務書類（未監査）は、以下のとおりである。

連結貸借対照表
（単位：百万ユーロ）

	注記	2023年 6 月30日現在	2022年12月31日現在
資産			
現金および中央銀行残高		20,668	6,821
銀行預入金		409	346
差入現金担保		4,092	4,144
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産		892	901
デリバティブ		3,012	3,737
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産		9,074	7,398
償却原価で測定される利付有価証券		8,774	7,636
償却原価で測定される貸付金および前渡金		89,546	89,624
ポートフォリオ・ヘッジ会計を適用する			
貸付金に対する価値調整		(8,286)	(8,679)
関連会社および共同支配企業		23	24
有形固定資産		13	13
未収還付税金		2	-
その他の資産		99	109
資産合計		128,318	112,074
負債			
銀行借入金		2,780	4,012
受入現金担保		874	1,173
純損益を通じて公正価値で測定される金融負債		184	185
デリバティブ		6,332	6,129
負債証券	1	107,657	90,774
受託資金		5,626	4,785
劣後債務		18	38
未払税金		-	11
繰延税金負債		7	14
その他の負債		250	338
負債合計		123,728	107,459
株主資本			
資本金		139	139
資本準備金		6	6
利益剰余金		3,972	3,824
再評価剰余金		23	4
キャッシュフロー・ヘッジ準備金		8	14
自己信用調整		1	2
ヘッジコスト準備金		(9)	17
当期純利益		141	300
株主に帰属する持分		4,281	4,306
その他Tier 1 資本		309	309
株主資本合計		4,590	4,615
負債および株主資本合計		128,318	112,074

連結損益計算書
(単位：百万ユーロ)

		2023年上半期	2022年上半期
	注記		
- 実効金利法を用いて計算した受取利息		2,204	2,041
- その他の受取利息		734	134
受取利息合計		2,938	2,175
- 実効金利法を用いて計算した支払利息		2,636	1,915
- その他の支払利息		33	40
支払利息合計		2,669	1,955
利息損益	2	269	220
- 受取手数料		14	11
- 支払手数料		1	2
手数料損益		13	9
金融取引損益	3	(28)	92
関連会社および共同支配企業による損益		1	10
その他の損益		0	0
収益合計		255	331
人件費		41	35
その他の一般管理費		22	18
減価償却費		1	1
その他の営業費用		0	0
営業費用合計		64	54
金融資産の減損損失純額	4	(11)	(14)
関連会社および共同支配企業の減損損失純額		-	(1)
破綻処理基金への拠出		14	20
その他の費用合計		3	5
税引前当期利益		188	272
法人所得税費用		47	66
当期純利益		141	206
- うちその他Tier 1 資本所有者に帰属		14	23
- うち株主に帰属		127	183

連結包括利益計算書

(単位：百万ユーロ)

計算書の数値はすべて税引後である。

	2023年上半期	2022年上半期
当期純利益	141	206
株主資本で直接認識される組替調整される損益		
キャッシュフロー・ヘッジ準備金の変動：		
- 未実現価額の変動	(6)	5
- 純損益に振り替えられた実現価額の変動	0	0
	(6)	5
ヘッジコスト準備金の変動：		
- 未実現価額の変動	(20)	(133)
- 純損益に振り替えられた実現価額の変動	(6)	(1)
	(26)	(134)
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される 金融資産に係る再評価剰余金の変動：		
- 未実現価額の変動	12	16
- 純損益に振り替えられた実現価額の変動	7	(39)
	19	(23)
組替調整される損益合計	(13)	(152)
株主資本で直接認識される組替調整されない損益：		
- 自己信用調整（OCA）の未実現価額の変動	(1)	(2)
組替調整されない損益合計	(1)	(2)
株主資本で直接認識される損益	(14)	(154)
合計	127	52
- うちその他Tier 1 資本所有者に帰属	14	23
- うち株主に帰属	113	29

連結キャッシュフロー計算書
(単位：百万ユーロ)

	2023年上半期	2022年上半期
営業活動によるキャッシュフロー		
税引前当期利益	188	272
調整：		
- 減価償却費	1	1
- 減損	(11)	(15)
- 純損益を通じて測定される未実現損益	21	(56)
営業資産および負債の変動：		
- 銀行預入金および銀行借入金（要求払以外）の変動	649	57
- 差入現金担保および受入現金担保の変動	(44)	11,048
- 貸付金および前渡金の変動	967	141
- 受託資金の変動	721	2,111
- デリバティブの変動	406	1,282
- 支払法人税	(60)	(73)
- 営業活動によるその他の変動	178	(405)
営業活動によるキャッシュフロー純額	3,016	14,363
投資活動によるキャッシュフロー		
投資および取得：		
- 純損益を通じて公正価値で測定される金融資産	(11)	(10)
- その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産	(3,140)	(2,778)
- 償却原価で測定される利付有価証券	(1,437)	(667)
- 関連会社および共同支配企業に対する投資	-	-
- 有形固定資産	(1)	-
処分および償還：		
- 純損益を通じて公正価値で測定される金融資産	123	65
- その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産	1,591	3,202
- 償却原価で測定される利付有価証券	451	565
- 関連会社および共同支配企業に対する投資	1	3
投資活動によるキャッシュフロー純額	(2,423)	380
財務活動によるキャッシュフロー		
受取額：		
- 欧州中央銀行供給資金（TLTRO）への参加	-	-
- 純損益を通じて公正価値で測定される金融負債	-	-
- 負債証券	265,777	189,038
支払額：		
- 中央銀行供給資金（TLTRO）の返済	(2,008)	-
- 純損益を通じて公正価値で測定される金融負債	(1)	(80)
- 負債証券	(250,339)	(187,067)
- 劣後債務	(21)	(1)
- その他Tier 1 資本に係る利息支払い	(15)	(23)
- 株主に対する配当金	(139)	(127)
- その他Tier 1 資本に係る返済	-	(424)
財務活動によるキャッシュフロー純額	13,254	1,316

	2023年上半期	2022年上半期
現金および現金同等物の純変動	13,847	16,059
1月1日現在の現金および現金同等物	6,824	9,286
6月30日現在の現金および現金同等物	20,671	25,345
6月30日現在の現金および現金同等物：		
- 現金および中央銀行残高	20,668	25,350
- 「銀行預入金」項目における現金同等物	4	4
- 「銀行借入金」項目における現金同等物	(1)	(9)
	20,671	25,345
営業活動によるキャッシュフローに対する注記		
受取利息額	2,789	2,093
支払利息額	(2,078)	(1,911)
	711	182

連結株主資本変動計算書

(単位：百万ユーロ)

計算書の数値はすべて税引後である。

2023年上半期											
	資本金	資本 準備金	再評価 剰余金	キャッ シュ・ ロー・ ヘッジ 準備金	自己 信用 調整	ヘッジ コスト 準備金	利益 剰余金	未処分 利益	株主に 帰属 する 持分	その他 Tier 1 資本	合計
2023年 1 月 1 日											
現在の残高	139	6	4	14	2	17	3,824	300	4,306	309	4,615
包括利益合計	-	-	19	(6)	(1)	(26)	-	141	127	-	127
その他Tier 1											
資本に係る返済	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
BNG銀行株主に 対する配当金	-	-	-	-	-	-	(139)	-	(139)	-	(139)
その他Tier 1											
資本所有者に 対する利息支払い	-	-	-	-	-	-	(13)	-	(13)	-	(13)
前年度利益処分額	-	-	-	-	-	-	300	(300)	-	-	-
2023年 6 月30日											
現在の残高	139	6	23	8	1	(9)	3,972	141	4,281	309	4,590
2022年上半期											
	資本金	資本 準備金	再評価 剰余金	キャッ シュ・ ロー・ ヘッジ 準備金	自己 信用 調整	ヘッジ コスト 準備金	利益 剰余金	未処分 利益	株主に 帰属 する 持分	その他 Tier 1 資本	合計
2022年 1 月 1 日											
現在の残高	139	6	83	1	3	125	3,736	236	4,329	733	5,062
包括利益合計	-	-	(23)	5	(2)	(134)	-	206	52	-	52
その他Tier 1											
資本に係る返済	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(424)	(424)
BNG銀行株主に 対する配当金	-	-	-	-	-	-	(127)	-	(127)	-	(127)
その他Tier 1											
資本所有者に 対する利息支払い	-	-	-	-	-	-	(18)	-	(18)	-	(18)
前年度利益処分額	-	-	-	-	-	-	236	(236)	0	-	0
2022年 6 月30日											
現在の残高	139	6	60	6	1	(9)	3,827	206	4,236	309	4,545

連結中間財務書類の会計原則

会社概要

BNG銀行N.V.は、オランダの法律に基づく法定二段構造企業であり、社会的インパクトを原動力としている。BNG銀行の重点は公共領域に置かれ、その社会的インパクトの拡大が重視されている。BNG銀行の資本金の半分をオランダ王国政府が所有し、残りの半分以上を州、地方自治体および地域治水委員会が所有している。BNG銀行は、オランダ、ハーグ Koninginnegracht 2 に登録事務所を置き（商工会議所番号27008387で登録）、支店はない。

適用法令

中間財務書類は、欧州連合（EU）により採用されているIAS第34号「中間財務報告」に準拠して作成される。

本中間財務書類には、連結財務書類に必要な情報および開示のすべてが記載されるわけではないため、EUにより採用されているIFRSおよびオランダ民法典第2編第9章の適用ある条項に準拠して作成されたBNG銀行の2022年度連結財務書類と併せて読む必要がある。本報告書で使用されている会計方針は、BNG銀行の2022年度連結財務書類の注記に記載されているものと一致している。ただし、「EUにより採用され2023年1月1日以降に発効した、適用されている会計基準」の項目に記載された会計方針の変更を除く。

一般に、BNG銀行は、EUにより採用されていないIASB発行の新規または改訂基準および解釈指針を適用しない。BNG銀行は、EUにより採用された2023年1月1日より後に開始する事業年度に強制適用される改訂基準および解釈指針の早期適用を原則として行わないことも決定した。

以下の新規または改訂基準、解釈指針および改善の適用により、BNG銀行の評価、損益の算定および開示の面で、本2023年度中間報告書において重要な調整は行われなかった。

EUにより採用され2023年1月1日以降に発効した、適用されている会計基準

- ・ IFRS第17号「保険契約」の改訂：IFRS第17号およびIFRS第9号の適用開始-比較情報：IASBにより2021年12月9日に発行され、2022年9月8日に承認された。これらの改訂は2023年1月1日に発効している。BNG銀行は顧客との間で保険契約を締結していないため、中間財務書類への影響はない。
- ・ IFRS第8号「会計方針、会計上の見積りの変更および誤謬」の改訂：会計上の見積りの定義：IASBにより2021年2月12日に発行され、EUにより2022年3月2日に承認された。これらの改訂は2023年1月1日に発効している。本改訂は定義の変更のみを含むため、中間財務書類への影響はない。
- ・ IAS第1号「財務諸表の表示」およびIFRS実務記述書第2号の改訂：会計方針の開示：IASBにより2021年2月12日に発行され、EUにより2022年3月2日に承認された。これらの改訂は2023年1月1日に発効している。本改訂は、連結中間財務書類の作成に関する内部プロセスに影響を与えるが、中間財務書類への影響は限定的である。
- ・ IAS第12号「法人所得税」の改訂：単一取引から生じた資産および負債に係る繰延税金：IASBにより2021年5月7日に発行され、EUにより2022年8月11日に承認された。BNG銀行にはIAS第12号第15項(b)またはIAS第12号第24項に基づくいずれの免除も適用されないため、中間財務書類への影響はない。

EUにより採用されていない未適用の会計基準

当報告期間または将来の報告期間および予測可能な取引において、BNG銀行に重要な影響を及ぼすと見込まれる、未発効の他の基準はない。

評価および損益の算定に適用される重要な会計原則

中間報告書は、継続企業の前提に基づき作成される。貸借対照表項目のほとんどは、償却原価で測定される。貸借対照表項目「純損益を通じて公正価値で測定される（FVTPL）金融資産」、「その他の包括利益を通じて公正価値で測定される（FVOCI）金融資産」、「デリバティブ」および「純損益を通じて公正価値で測定される（FVTPL）金融負債」は、公正価値で測定される。貸借対照表項目「関連会社および共同支配企業」は、持分法に準拠し表示される。貸借対照表項目「有形固定資産」は、減価償却累計額控除後の原価で表示される。収益は、BNG銀行に経済価値が発生する見込みがあり、かつ信頼性を持って収益を決定できる場合に認識される。費用は、可能な場合、サービスが提供された期間またはこれらの費用を相殺する関連した収益に割り当てられる。詳細については、個々の貸借対照表項目に係る会計原則を参照のこと。

ユーロはBNG銀行が使用する機能通貨であり報告通貨である。別段の記載がない限り、連結財務書類において、金額はすべて百万ユーロで表示される。

連結の会計原則

中間財務書類の作成に使用される親会社とその子会社の中間財務書類は、同一の報告日時点で作成され、同一の原則に基づく。収益、費用、配当金等のグループ会社内取引および残高のすべては、中間財務書類で完全に消去されている。連結に含まれる子会社の報告期間はBNG銀行と一致している。

本中間財務書類は、親会社およびBNG銀行が支配するすべての子会社の中間決算から構成される。支配は、BNG銀行が投資者となっていることにより変動リターンに対するエクスポージャーを有し、当該投資に関係した活動に対するパワーを行使することで当該リターンに影響を及ぼすことができる場合に存在する。グループ会社は、支配を獲得した日から、支配が消滅する時まで、完全に連結対象となる。BNG銀行が受益権または持分を保有する投資ファンドの支配を有するか否かを決定する際には、参加者としてBNG銀行が保有する財務上の利害関係が考慮される。

比較数値の表示の変更

本中間財務書類の比較数値は、2022年度財務書類および2022年度中間財務書類で開示された数値と相違するものはない。

中間財務書類に対する諸事象の影響

中間報告書に対するウクライナ戦争の影響

ウクライナとロシアの戦争については、2022年度と同様、2023年上半期にはBNG銀行への直接的な影響はほとんどなかった。BNG銀行はロシアにおいて直接のエクスポージャーを有していないため、BNG銀行の継続性、ビジネスモデルおよび業績に直接的な影響はない。間接的には、この戦争はインフレその他のマクロ経済要因に著しい影響を与えている。

セグメント情報

BNG銀行は、リソース配分と業績測定を決定する際に、貸付業務と地域開発業務を区別している。BNG銀行は、貸付業務の管理と設定において、異なるセグメントまたは事業ユニットを区別していない。BNG銀行の地域開発業務は、その貸付業務と比較して重要ではない。したがって、本中間報告書にセグメント情報は含まれていない。

配当

2022年度の配当金は1億3,900万ユーロが株主総会に提案され、2023年4月20日に支払われた。

その他Tier 1 資本所有者に対する1,400万ユーロの利息支払いは2023年上半期に分配された。この分配は、法人所得税上、損金算入可能である。BNG銀行は、2023年上半期の業績に係る中間配当を支払う予定はない。

連結中間財務書類に対する注記

1 負債証券

2023年上半期に、負債証券は169億ユーロ増加し1,077億ユーロとなった。これは、長期資金調達で34億ユーロ増加し、（コマーシャル・ペーパーの形による）短期資金調達が135億ユーロ増加したためである。

BNG銀行は、その長期資金調達業務に関連して、2023年上半期に112億ユーロ（2022年上半期：87億ユーロ）の長期負債証券を発行した。報告期間における長期負債証券の償還価額合計は79億ユーロ（2022年上半期：88億ユーロ）であった。

2 利息損益

	2023年上半期	2022年上半期
受取利息		
実効金利法を用いて計算した受取利息：		
- 償却原価で測定される金融資産	1,113	866
- その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産	70	24
- ヘッジ会計を適用するデリバティブ	1,007	1,015
- 金融負債に係る受取利息	14	136
	2,204	2,041
その他の受取利息：		
- 純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定された金融資産	24	31
- 強制的に純損益を通じて公正価値で測定される金融資産	1	1
- ヘッジ会計を適用しないデリバティブ	216	95
- その他	493	7
	734	134
受取利息合計	2,938	2,175
支払利息		
実効金利法を用いて計算した支払利息：		
- 償却原価で測定される金融負債	1,493	656
- ヘッジ会計を適用するデリバティブ	1,131	1,120
- 金融資産に係る支払利息	12	139
	2,636	1,915
その他の支払利息：		
- 純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定された金融負債	4	4
- ヘッジ会計を適用しないデリバティブ	23	30
- その他	6	6
	33	40
支払利息合計	2,669	1,955
利息損益合計	269	220

2023年6月に、BNG銀行は、TLTRO第三弾の残高35億ユーロのうち20億ユーロを返済した。2023年上半期のTLTRO第三弾の預金に係る支払利息は2,000万ユーロ（2022年上半期：受取利息9,200万ユーロ）である。2022年11月以降、条件の変更に伴い、TLTROの利息は受取るのではなく支払うことになっている。「その他の受取利息」の増加額のうち4億8,200万ユーロは、ECBに預け入れた翌日物預金の金利が上昇したことによる。

3 金融取引損益

以下の表は、実現および未実現の市場価値変動による金融取引損益の内訳を示している。

	2023年上半期	2022年上半期
信用スプレッドおよび流動性スプレッドの変動に起因する純損益を通じて公正価値で測定する以下の金融資産の市場価値変動：		
- 利付有価証券	(5)	(4)
- ストラクチャード・ローン	(5)	(3)
	(10)	(7)
ヘッジ会計による損益		
- ポートフォリオ公正価値ヘッジ会計	25	3
- ミクロ公正価値ヘッジ会計	(40)	19
- ミクロ・キャッシュフロー・ヘッジ会計	0	0
	(15)	22
デリバティブに係る取引先信用リスクの変動（CVA / DVA）	2	14
売却および買取りによる実現損益	(6)	40
その他の市場価値変動	1	23
合計	(28)	92

金融取引損益は2,800万ユーロの損失（2022年上半期：9,200万ユーロの利益）であった。減少額の大半は、BNG銀行の流動性ポートフォリオからの利付有価証券の売却による実現損益が減少したことが原因である。その影響により、（前年同期の4,000万ユーロの利益に対して）2023年上半期は600万ユーロの損失となった。当年上半期の市場動向を受けて、ヘッジ会計による損益は1,500万ユーロの損失であった。

4 金融資産およびオフバランスシート契約の減損

金融資産およびオフバランスシート契約の減損のステージ別内訳

以下の表は、減損の対象となる金融資産およびオフバランスシート契約の3つの減損のステージ別内訳を示している。

ステージ1：当初認識以降、信用リスクの著しい増大がない正常債権エクスポージャー

ステージ2：当初認識以降に、信用リスクの著しい増大があった正常債権エクスポージャー

ステージ3：不良債権エクスポージャー

2023年 6 月30日現在

	帳簿価額総額				信用損失引当金（評価性）		
	正常債権		不良債権		正常債権		不良債権
	帳簿価額	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3
減損対象の金融資産							
現金および							
中央銀行残高	20,668	20,668	-	-	-	-	-
銀行預入金	409	409	-	-	0	-	-
差入現金担保	4,092	4,092	-	-	-	-	-
その他の包括利益 を通じて公正価値 で測定される金融 資産 ¹	9,074	9,074	-	-	0	0	-
償却原価で測定 される利付有価 証券	8,774	8,699	77	-	(1)	(1)	-
貸付金および 前渡金	89,546	86,739	2,221	701	(6)	(20)	(89)
合計	132,563	129,681	2,298	701	(7)	(21)	(89)

注 1 その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産に対する信用損失引当金はその他の包括利益に含まれており、（正味）帳簿価額には含まれていない。

2023年 6 月30日現在

	額面金額			引当金（負債性）		
	正常債権		不良債権	正常債権		不良債権
	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3
オフバランスシート契約						
偶発債務	474	3	1	0	0	(1)
取消可能信用供与契約	6,633	196	221	-	-	-
取消不能信用供与契約	4,526	52	11	0	(1)	(1)
合計	11,633	251	233	0	(1)	(2)

2022年12月31日現在

	帳簿価額総額				信用損失引当金（評価性）		
	正常債権		不良債権		正常債権		不良債権
	帳簿価額	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3
減損対象の金融資産							
現金および							
中央銀行残高	6,821	6,821	-	-	-	-	-
銀行預入金	346	346	0	0	0	0	0
差入現金担保	4,144	4,144	-	-	-	-	-
その他の包括利益 を通じて公正価値 で測定される金融 資産 ¹	7,398	7,398	0	-	0	0	0
償却原価で測定 される利付有価 証券	7,636	7,552	86	-	0	(2)	0
貸付金および 前渡金	89,624	86,885	2,049	848	(8)	(21)	(129)
合計	115,969	113,146	2,135	848	(8)	(23)	(129)

注 1 その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産に対する信用損失引当金はその他の包括利益に含まれており、（正味）帳簿価額には含まれていない。

2022年12月31日現在

	額面金額			引当金（負債性）		
	正常債権		不良債権	正常債権		不良債権
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
オフバランスシート契約						
偶発債務	485	3	1	0	0	(1)
取消可能信用供与契約	5,781	228	239	-	-	-
取消不能信用供与契約	4,341	43	42	0	(1)	(1)
合計	10,607	274	282	0	(1)	(2)

2023年6月30日現在、不良債権エクスポージャーは合計7億100万ユーロ（2022年度末：8億4,800万ユーロ）であった。不良債権エクスポージャーは、ポートフォリオ合計の0.5%（2022年度末：0.8%）を占め、29件の債務者（2022年度末：28件の債務者）に関係する。BNG銀行は、不良債権エクスポージャーに関連して合計4億4,600万ユーロ（2022年度末：3億9,100万ユーロ）の政府保証を受けている。以下の表は、不良債権エクスポージャーの推移を示している。

	2023年上半期	2022年度
1月1日現在の不良債権エクスポージャー合計	848	549
既存の不良債権エクスポージャーの増加	8	10
正常債権から不良債権エクスポージャーへの移動	26	510
不良債権から正常債権エクスポージャーへの移動	(117)	-
不良債権エクスポージャーの返済および決済償却	(21)	(221)
	(43)	-
期末現在の不良債権エクスポージャー合計	701	848

予想信用損失引当金の変動

以下の表は、金融資産に係る予想信用損失引当金（評価性）およびオフバランスシート契約に係る予想信用損失引当金（負債性）の変動を示している。

	2023年上半期				期末残高
	期首残高	組成および取得による増加	認識中止、返済および処分による減少	信用リスクの変動による変動（純額）	
引当金（評価性）					
現金および中央銀行残高	-	-	-	-	-
銀行預入金	0	-	-	0	0
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産償却原価で測定される	0	0	0	0	0
利付有価証券	2	0	0	0	2
貸付金および前渡金	158	1	(46)	2	115
	160	1	(46)	2	117
引当金（負債性）					
オフバランスシート契約	3	(1)	0	1	3

	2022年上半期				期末残高
	期首残高	組成および 取得による 増加	認識中止、 返済および 処分による 減少	信用リスクの 変動による 変動（純額）	
引当金（評価性）					
現金および中央銀行残高	-	-	-	-	-
銀行預入金	0	-	-	0	0
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定される金融資産	0	0	0	0	0
償却原価で測定される					
利付有価証券	2	0	0	(1)	1
貸付金および前渡金	237	2	(1)	(13)	225
	239	2	(1)	(14)	226
引当金（負債性）					
オフバランスシート契約	1	0	0	(1)	0

契約上のキャッシュフローの変更

全期間の予想信用損失に基づく損失引当金が設定されている（すなわちステージ2または3）金融資産で、2023年上半期中に契約上のキャッシュフローが変更されたものはない。2023年上半期に、支払猶予措置の対象となった金融資産を有する2件の債務者がステージ2からステージ1へ移動した。この移動により契約上のキャッシュフローが変更されたものはなかった。

主要なインプットおよび仮定

金融資産の予想信用損失（ECL）は、信用リスクの著しい増大（SICR）が発生したかどうかによって、12か月または全期間のどちらかに基づいて測定される。予想信用損失合計は、デフォルト確率（PD）、デフォルト時損失率（LGD）およびデフォルト時エクスポージャー（EAD）の結果を割り引いたものである。

デフォルト確率

PDは、ECLおよびSICRの決定における主要な構成要素として使用される。BNG銀行は、外部格付が入手できないエクスポージャーについて、主に専門家の判断に基づくPDモデルを開発した。IFRS第9号の遵守およびいわゆる「ポイント・イン・タイム」のPDを確保するため、BNG銀行は将来に関する情報（FLI）を含んだオーバーレイ・モデルを開発した。ステージの決定においては、FLIを調整済の信用格付が使用されている。BNG銀行は、財務書類内の他の関連する見積りに対するインプットと整合するような、経済予測に基づく3つの内部開発シナリオを適用している。提案されたマクロ経済予測は、外部のマクロ経済予測と比較され、シナリオの外部検証性を確保している。シナリオは、資産・負債委員会（ALCO）で承認されている。これによって、BNG銀行はPDが合理的かつ裏付可能であることを確保している。

デフォルト時損失率

信用ポートフォリオのデフォルト率が低く、過去の内部のLGDデータが不足しているため、BNG銀行はLGDモデルを確立することができない。したがって、BNG銀行はエクスポージャー全体に対して、4つの異なるLGD率を伴う基本的な一律LGDアプローチを適用している。

- ・（オランダ）中央政府または地方政府が交付または保証するエクスポージャーについて0%
- ・ EU内の中央政府または地方政府が発行する政府債について10%
- ・ 中央政府または地方政府の保証がないエクスポージャーおよび優先無担保債について35%
- ・ 劣後ローンについて75%

デフォルト時エクスポージャー

貸付金および利付有価証券（証券化を除く）に係るEADは、債務者が12か月間または全期間にわたって義務を負う契約上の返済額に基づく。任意返済または早期償還は、過去の実績から頻度が高くないため、考慮に入れていない。証券化に関する将来の契約上の返済額は、外部情報源から得られる見積定率期限前返済率に基づく。コミットメント（オフバランスシート）ファシリティの場合、最大エクスポージャーは、12か月間または全期間（減損のステージによる）のどちらかにおいて予想される融資枠の使用を反映するように調整される。

信用リスクの著しい増大

BNG銀行は、認識以降の信用リスクの著しい変動を評価するためのインプット・パラメータとして、FLIについて調整されたポイント・イン・タイムPDを適用している。さらにBNG銀行は、SICRを判定するための補完基準として、支払猶予措置および30日超の期日経過を使用している。他方で、BNG銀行は認識以降の信用リスクの著しい変動のモニタリングについて、低信用リスクである場合の除外も適用している。この場合、SICRが生じているかを判定せずに、12か月間のECLを使用して減損が測定される。BNG銀行は、投資適格の格付を有する金融資産については「低信用リスク」とであるとみなす。債券については、BNG銀行はBBB-以上を投資適格とみなしている。貸付金については、内部相手先信用格付を使用して投資適格であるかを判定している。内部相手先信用格付は、多数の市場セクター固有の内部格付モデルから導き出され、これらのモデルは外部的に検証されている。

BNG銀行は、ステージ3の減損金額を決定する際に、専門家を利用して判断を行っている。このアプローチは、特別管理部により金融商品レベルごとに実行される。

将来に関するマクロ経済情報

主要なマクロ経済変数を識別するために、過去のデータの分析が実施され、これらの変数は四半期毎に提供される。専門家による判断が適用され、資産・負債委員会（ALCO）により承認される。証券化以外についてデフォルト確率の決定に適用されるマクロ経済要素は、名目国内総生産（GDP）、失業率および雇用率である。証券化について適用されるマクロ経済要素は、住宅価格指数、長期金利および債務である。シナリオに対する加重は、2022年度の加重と比較して調整されなかった。

証券化

マクロ経済変数	2023年6月30日現在の期間	2022年12月31日現在の期間
ユーロ圏（17か国）の住宅価格指数	3年	3年
ユーロ圏（19か国）の長期金利	3年	3年
ユーロ圏の債務（家計およびNPISHへの貸付） ¹	3年	3年

シナリオ	2023年6月30日現在の加重	2022年12月31日現在の加重
基本シナリオ	50%	50%
上昇シナリオ	10%	10%
下降シナリオ	40%	40%

注1 対家計非営利団体

証券化以外

マクロ経済変数	2023年6月30日現在の期間	2022年12月31日現在の期間
オランダの国内総生産（GDP）	3年	3年
オランダの失業率	3年	3年
雇用率	3年	3年

シナリオ	2023年6月30日現在の加重	2022年12月31日現在の加重
基本シナリオ	50%	50%
上昇シナリオ	10%	10%
下降シナリオ	40%	40%

不良債権エクスポージャー

BNG銀行は、以下の基準のいずれかを満たす場合、不良債権の定義と完全に合致している金融商品を債務不履行と定義する。

- ・ BNG銀行が、債務者によるBNG銀行に対する信用債務の支払可能性が低いとみなしている。
- ・ 債務者によるBNG銀行に対する重要な信用債務の支払いが90日以上遅延している。

BNG銀行は、「支払可能性が低いこと」について以下の指標を採用している。

- ・ 債務者の収入源が、支払債務を履行するには不十分とみなされる。
- ・ 将来キャッシュフローに対する疑義の兆候が見られる。
- ・ 債務者の負債比率が著しく上昇した。
- ・ 1件以上の約款違反が発生した。
- ・ BNG銀行が保証の実行を求めたまたは担保権を実行した。
- ・ 他の債権者に対する著しい支払遅延（登記所に記録された）。
- ・ 債務者の市場セクターに経済的危機があり、同セクター内の債務者が信用弱者とみなされている。
- ・ 財務的困難により、債務者は市場セクターにおいて活発に活動しているとはみなされなくなった。
- ・ BNG銀行以外の債権者が当該債務者の破産を申し立てた。

信用損失引当金の感応度分析

信用損失引当金の金額の（再）計算において、インプットの変動に対する信用損失引当金の感応度を測定するために、異なるシナリオが設定されている。

シナリオ A

シナリオ A では、減損の対象となるすべての個別エクスポージャーの信用格付が 1 ノッチ引き下げられる（例えば、AAAからAA+）。これらの（引き下げられた）信用格付およびそれに伴うPDがステージ分類評価および信用損失引当金の計算に適用される。その結果、一部のエクスポージャーがステージ 1 からステージ 2 に振り替えられる。EADおよびLGDについては、ベース水準からの変更はない。

シナリオ B

シナリオ B では、通常はLGDが 0 %のエクスポージャーのLGDを10%とする。通常はLGDが10%、35%または75%のエクスポージャーのLGDは変更されない。EAD、信用格付およびPDについても、ベース水準からの変更はない。

シナリオ C

シナリオ C では、信用損失引当金の計算がポイント・イン・タイムPDではなく、「スルー・ザ・サイクル」PDを使用して実施される。すなわち、将来に関するマクロ経済情報を組み込まないPDが計算に使用される。EAD、信用格付、ステージレベルおよびLGDについては、ベース水準からの変更はない。

以下の表は、3 つのシナリオにおける信用損失引当金合計の感応度を示している。

2023年 6 月30日現在				
	シナリオ A (1 ノッチ 引き下げ)	シナリオ B (LGDを 0 % から10%に)	シナリオ C (スルー・ザ・ サイクルPD)	実際の計上額
引当金（評価性）				
現金および中央銀行残高	-	-	-	-
銀行預入金	0	0	0	0
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産	0	0	0	0
償却原価で測定される利付有価証券	2	4	3	1
貸付金および前渡金	115	122	141	117
	117	126	144	118
引当金（負債性）				
オフバランスシート契約	3	3	3	3
2022年12月31日現在				
	シナリオ A (1 ノッチ 引き下げ)	シナリオ B (LGDを 0 % から10%に)	シナリオ C (スルー・ザ・ サイクルPD)	実際の計上額
引当金（評価性）				
現金および中央銀行残高	-	-	-	-
銀行預入金	0	0	0	0
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産	0	0	0	0
償却原価で測定される利付有価証券	2	3	2	1
貸付金および前渡金	158	165	182	159
	160	168	184	160
引当金（負債性）				
オフバランスシート契約	3	3	3	3

5 分類別の金融商品の内訳

2023年6月30日現在				
	償却原価	純損益を通じて 公正価値で測定	その他の包括 損益を通じて 公正価値で測定	合計
現金および中央銀行残高	20,668	-	-	20,668
銀行預入金	409	-	-	409
差入現金担保	4,092	-	-	4,092
純損益を通じて公正価値で測定される 金融資産	-	892	-	892
デリバティブ	-	3,012	-	3,012
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産	-	-	9,074	9,074
償却原価で測定される利付有価証券	8,774	-	-	8,774
貸付金および前渡金	89,546	-	-	89,546
ポートフォリオ・ヘッジ会計を適用する 貸付金に対する価値調整	(8,286)	-	-	(8,286)
資産合計	115,203	3,904	9,074	128,181
銀行借入金	2,780	-	-	2,780
受入現金担保	874	-	-	874
純損益を通じて公正価値で測定される 金融負債	-	184	-	184
デリバティブ	-	6,332	-	6,332
負債証券	107,657	-	-	107,657
受託資金	5,626	-	-	5,626
劣後債務	18	-	-	18
負債合計	116,955	6,516	-	123,471

2022年12月31日現在				
	償却原価	純損益を通じて 公正価値で測定	その他の包括 損益を通じて 公正価値で測定	合計
現金および中央銀行残高	6,821	-	-	6,821
銀行預入金	346	-	-	346
差入現金担保	4,144	-	-	4,144
純損益を通じて公正価値で測定される 金融資産	-	901	-	901
デリバティブ	-	3,737	-	3,737
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産	-	-	7,398	7,398
償却原価で測定される利付有価証券	7,636	-	-	7,636
貸付金および前渡金	89,624	-	-	89,624
ポートフォリオ・ヘッジ会計を適用する 貸付金に対する価値調整	(8,679)	-	-	(8,679)
資産合計	99,892	4,638	7,398	111,928
銀行借入金	4,012	-	-	4,012
受入現金担保	1,173	-	-	1,173
純損益を通じて公正価値で測定される 金融負債	-	185	-	185
デリバティブ	-	6,129	-	6,129
負債証券	90,774	-	-	90,774
受託資金	4,785	-	-	4,785
劣後債務	38	-	-	38
負債合計	100,782	6,314	-	107,096

6 金融商品の公正価値

公正価値とは、意思または能力にかかわらず、現在の市場状況の下、測定日時点で、市場参加者間の秩序ある取引により、資産が売却された場合に受け取るであろう移転価格（取引費用調整前）または負債が移転された場合に支払うであろう価格である。評価が市場参加者の観点から行われる必要があるということを想定しており、これにより、金融商品の固有の特徴および制限のみが考慮される。3つのレベルの公正価値の間で区別がなされ、インプットの性質およびその全体の評価にとっての重要性がヒエラルキーの正しい分類によって決定的である。

公正価値ヒエラルキー

- ・ レベル1：活発な市場における、当該商品の、または入手できない場合は同一商品の、（未調整の）相場価格に基づく評価。金融商品は、相場価格が定期的に入手可能である場合、ならびにそれらの価格が現在および定期的に生じる独立当事者間の市場取引を反映している場合に、活発な市場での相場価格があるとみなされる。金融資産および負債の相場価格は、中間市場価格に基づいている。
- ・ レベル2：レベル1で使用された相場価格を除く、直接的または間接的に観察可能な市場データを用いた評価技法に基づく評価。このカテゴリーは、類似した商品の活発な市場での相場価格、同一もしくは類似した商品の活発とはみなされない市場での相場価格、またはすべて市場データから直接的もしくは間接的に観察可能な重要なインプットによるその他の評価技法を用いて評価される商品を含む。
- ・ レベル3：市場で公表されない観察不能なインプットを大幅に用いた評価技法に基づく評価。このカテゴリーは、観察可能な市場データに基づかないインプットを用いた評価技法による商品を含み、そのため、観察不能な市場データが商品の評価に重要な影響を与える。このカテゴリーはまた、類似した商品の相場価格に従って評価された商品も含み、これにより重要で公には観察不能な変更または前提が、商品間の差異を示すために必要となる。

可能な場合、BNG銀行は、価格カーブおよび資金調達カーブを決定するために、相場価格（レベル1）を使用する。BNG銀行は、評価目的で中間市場価格を使用する。中間市場価格の使用は、金融資産および金融負債の市場リスクが相殺される場合、認められている。

多くの場合、BNG銀行は債務者に関し理論的な評価（レベル2）に依拠している。かかる場合は、一般的に金融業界で使用される評価モデルおよび技法に基づき公正価値が決定される。これらの大部分は純現在価値計算に基づくモデルおよびオプション価格モデルである。これらのモデルのための変数は、市場価格、フォワード価格設定、割引の市場条件に沿ったイールド曲線、相関、ボラティリティ、クロスカレンシー・スワップのベースス・スプレッド、取引先の信用力ならびに市場当事者が価格決定に使用するその他の要因、見積り、仮定等の直接的または間接的に客観的に観察可能なインプットに基づく。BNG銀行は、いわゆるスプレッド曲線を、理論的な評価が必要な信用および流動性リスクに関連する金融商品の公正価値を決定するために使用する。これらのスプレッド曲線は、関連する金利曲線ならびに信用および流動性リスクのスプレッドに基づき作成される。信用リスク・スプレッドは、受入担保、保証および満期を考慮に入れ、債務者の信用度に左右される。流動性リスク・スプレッドは、商品の市場性の程度に左右される。個々の顧客および金融商品のリスク・プロファイルは、少なくとも四半期に1回評価される。必要な場合、信用リスク・スプレッドが調整される。

ごく限られた場合に、BNG銀行の金融商品の評価は、かなりの程度まで、市場で観察不能なインプットおよび経営陣の見積り（レベル3）に基づいている。

デリバティブ取引の公正価値決定の際に、信用評価調整（CVA）および債務評価調整（DVA）が、BNG銀行が日次の担保交換に関する契約を締結していないすべての顧客および金融取引先とのデリバティブ取引すべて

に適用される。CVAおよびDVAはまた、BNG銀行が日次の担保交換に関する契約を締結したが、担保額の算定において重要な閾値が適用される顧客または取引先とのデリバティブ取引すべてに適用される。

BNG銀行は自己の信用リスクの決定において、関連するスワップ・カーブに対するスプレッド、すなわち「自己信用調整（OCA）」を適用している。OCAは、「純損益を通じて公正価値で測定される金融負債」に含まれる商品のみに関連する。

金融商品がフォワード契約の性格を持つ限り、フォワード・イールド曲線およびフォワード為替相場などの公表されているフォワード価格が使用される。複雑な商品の場合、商品の構成要素は、上記の技法およびモデルに基づき個別に測定される。商品全体の公正価値は構成要素の公正価値の合計として決定される。BNG銀行は、各報告期間末の財務ポジション処理のために継続的に測定される経常的な公正価値のみを適用する。

	2023年6月30日現在		2022年12月31日現在	
	貸借対照表 価額	公正価値	貸借対照表 価額	公正価値
現金および中央銀行残高	20,668	20,666	6,821	6,821
銀行預入金	409	410	346	346
差入現金担保	4,092	4,092	4,144	4,144
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産	892	892	901	901
デリバティブ	3,012	3,012	3,737	3,737
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産	9,074	9,074	7,398	7,398
償却原価で測定される利付有価証券	8,774	8,649	7,636	7,462
貸付金および前渡金	89,546	80,682	89,624	81,162
金融資産合計	136,467	127,477	120,607	111,971
銀行借入金	2,780	2,771	4,012	4,004
受入現金担保	874	874	1,173	1,173
純損益を通じて公正価値で測定される金融負債	184	184	185	185
デリバティブ	6,332	6,332	6,129	6,129
負債証券	107,657	107,314	90,774	90,662
受託資金	5,626	5,663	4,785	4,826
劣後債務	18	20	38	40
金融負債合計	123,471	123,158	107,096	107,019

取引を行う際、公正価値のヒエラルキー分類は、分類を決定付けるインプット要因の性質およびその評価全体への重要性を踏まえた、評価に関連する特徴に基づいて決定されている。分類は、取引全体として公正価値に重要性のあるインプットのレベルのうち最も低いものに基づいて行われる。

重要性は、評価全体の結果に対する観察不能なインプット要因の影響を、これらの観察不能なインプット要因に関する代替的な仮定の範囲を考慮に入れて決定することにより評価される。四半期毎に、各取引のヒエラルキー分類は評価され、必要な場合、調整される。

以下の表は、公正価値で認識される取引の公正価値ヒエラルキーの概要を示している。

2023年 6 月30日現在				
	レベル 1	レベル 2	レベル 3	合計
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産	58	825	9	892
デリバティブ	-	3,012	-	3,012
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産	8,997	77	-	9,074
金融資産合計	9,055	3,914	9	12,978
純損益を通じて公正価値で測定される金融負債	114	70	-	184
デリバティブ	-	6,332	-	6,332
金融負債合計	114	6,402	-	6,516

2022年12月31日現在				
	レベル 1	レベル 2	レベル 3	合計
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産	58	834	9	901
デリバティブ	-	3,737	-	3,737
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産	7,322	76	-	7,398
金融資産合計	7,380	4,647	9	12,036
純損益を通じて公正価値で測定される金融負債	-	185	-	185
デリバティブ	-	6,129	-	6,129
金融負債合計	0	6,314	-	6,314

2023年 6 月30日現在、1 件の資産がレベル 3 に分類されている。これは金利リスクがスワップでヘッジされている劣後ローンである。これは市場ではほとんど取引されない仕組利付有価証券である。したがって、類似の証券について入手できる観察可能な市場データは現在の公正価値を完全に反映するものではない。この取引の公正価値は公表された市場データに基づいて決定され、重要な、市場で公表されない観察不能なインプットを用いて調整される。

償却原価による取引の公正価値ヒエラルキー

以下の表は、貸借対照表上、償却原価で認識される取引の公正価値を決定する方法の概要を示している。

	2023年6月30日現在			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
現金および中央銀行残高	266	20,400	-	20,666
銀行預入金	4	404	2	410
差入現金担保	-	4,092	-	4,092
償却原価で測定される利付有価証券	1,740	6,650	259	8,649
貸付金および前渡金	377	73,515	6,790	80,682
金融資産合計	2,387	105,061	7,051	114,499
銀行借入金	1	2,770	-	2,771
受入現金担保	-	874	-	874
負債証券	81,249	26,065	-	107,314
受託資金	3,440	1,745	478	5,663
劣後債務	-	20	-	20
金融負債合計	84,690	31,474	478	116,642

	2022年12月31日現在			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
現金および中央銀行残高	6,821	-	-	6,821
銀行預入金	4	339	3	346
差入現金担保	-	4,144	-	4,144
償却原価で測定される利付有価証券	439	6,760	263	7,462
貸付金および前渡金	590	74,086	6,486	81,162
金融資産合計	7,854	85,329	6,752	99,935
銀行借入金	1	4,003	-	4,004
受入現金担保	-	1,173	-	1,173
負債証券	79,599	11,063	-	90,662
受託資金	3,484	792	550	4,826
劣後債務	-	40	-	40
金融負債合計	83,084	17,071	550	100,705

レベル3に含まれる償却原価で測定される金融資産は主に、BNG銀行の法定顧客に対する自己資本要件が課される貸付金および前渡金に関連する。政府保証に基づく法定取引先に対する貸付金および前渡金は、オランダ王国が発行した債券との強い相関のため、レベル2に含まれる。「負債証券」項目のレベル1に含まれる償却原価で測定される金融負債は、BNG銀行が発行した売買可能なベンチマーク債券に関連する。民間借入は、「受託資金」項目のレベル3として分類される。

7 信用リスク

支払猶予されたエクスポージャー

支払猶予は、債務者の不安定な財務ポジションの結果、債務者がその債務を果たすことができるよう債務者のために信用条件が変更された信用契約に関連する。

	2023年 6月30日現在			
	エクスポージャー 合計	うち支払猶予		合計に占める割合
		減損控除前	減損控除後	
金融資産（デリバティブを除く）				
現金および中央銀行残高	20,668	-	-	0.0%
銀行預入金	409	-	-	0.0%
差入現金担保	4,092	-	-	0.0%
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産	892	-	-	0.0%
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産	9,074	-	-	0.0%
償却原価で測定される利付有価証券	8,774	-	-	0.0%
貸付金および前渡金	89,546	368	315	0.4%
	133,455	368	315	0.3%
オフバランスシート契約				
偶発債務	478	2	2	0.4%
取消可能信用供与契約	7,050	23	23	0.3%
取消不能信用供与契約	4,589	1	1	0.0%
	12,117	26	26	0.2%

	2022年12月31日現在			
	エクスポージャー 合計	うち支払猶予		合計に占める割合
		減損控除前	減損控除後	
金融資産（デリバティブを除く）				
現金および中央銀行残高	6,821	-	-	0.0%
銀行預入金	346	-	-	0.0%
差入現金担保	4,144	-	-	0.0%
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産	901	-	-	0.0%
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産	7,398	-	-	0.0%
償却原価で測定される利付有価証券	7,636	-	-	0.0%
貸付金および前渡金	89,624	353	302	0.4%
	116,870	353	302	0.3%
オフバランスシート契約				
偶発債務	489	2	2	0.4%
取消可能信用供与契約	6,248	35	35	0.6%
取消不能信用供与契約	4,427	-	-	0.0%
	11,164	37	37	0.3%

債務者の不利な財務ポジションの結果として契約条項が変更された金融資産は、2023年6月30日現在3億6,800万ユーロ（減損控除前）（2022年度末：3億5,300万ユーロ）であった。支払猶予されたエクスポージャーは、ポートフォリオ合計の0.3%（2022年度末：0.3%）を占め、14件の債務者（2022年度末：14件の債務者）に関係する。支払猶予は、減損のステージ決定評価における防護指標として用いられ、その結果、すべての支払猶予エクスポージャーは減損のステージ2に分類されている。

不良債権

BNG銀行の不良債権エクスポージャーの方法の開示については、注記4（金融資産およびオフバランスシート契約の減損）を参照のこと。不良債権に分類されるエクスポージャーは、以下のすべての条件を満たす場合、再び正常債権とみなされる。

- ・ 債務者が再び、すべての契約条件を満たしている（債務不履行は生じていない）。
- ・ 既存または変更後の支払条件に従って、債務者の状況が、債務者が債務を返済することができる程度まで改善している（「支払可能性がある」）。
- ・ 債務者に90日を超える支払いの遅延がない。

正常債権の支払遅延エクスポージャーの満期分析

数値は、IFRS第9号に基づく減損ステージ3に含まれない支払遅延エクスポージャーで構成されている。

	2023年6月30日現在	2022年12月31日現在
31日未満	6	2
31日以上60日以下	-	0
61日以上90日以下	0	-
90日超	4	-
期末残高	10	2

90日超の支払遅延エクスポージャーは400万ユーロであり、貸付金の返済スキームに関する債務者との紛争に関連する。かかる債務者は、顧客として現在も正常債権である。

金融資産および金融負債（デリバティブ）のネットティング

BNG銀行がデリバティブ取引を締結する準備を整えている金融相手先は、信用リスクを減らすためにネットティング契約が提供される。さらに、相対の担保契約が締結される。これらにより、市場価額の動向を担保によって日次で緩和できるようにしている。契約は、規制の変更に応じて必要があれば更新される。これらの契約は、キャッシュフローが中央清算参加者を通じて相殺されない限り、貸借対照表上のネットティングの対象ではない。以下の表は、貸借対照表上のネットティング前の総額ポジション、および担保契約を考慮に入れた場合の総額ポジションを示している。

2023年6月30日現在			
	デリバティブ (資産として計上)	デリバティブ (負債として計上)	純額
金融資産および金融負債（デリバティブ）の ネットティング			
貸借対照表上のネットティング前の金融資産 および負債の総価額	5,848	(9,168)	(3,320)
ネットティングされる金融資産および負債の総価額	(2,836)	2,836	0
金融資産および負債の貸借対照表価額 (ネットティング後)	3,012	(6,332)	(3,320)
ネットティング目的でIAS第32号（同一相手先との デリバティブのネットティング）に適合しない 金融ネットティング商品の価額	(2,072)	2,072	0
担保考慮前のエクスポージャー	940	(4,260)	(3,320)
ネットティング目的でIAS第32号に適合しない 金融担保の価額	(760)	4,087	3,327
正味エクスポージャー	180	(173)	7

2022年12月31日現在			
	デリバティブ (資産として計上)	デリバティブ (負債として計上)	純額
金融資産および金融負債（デリバティブ）の ネットティング			
貸借対照表上のネットティング前の金融資産 および負債の総価額	17,203	(19,595)	(2,392)
ネットティングされる金融資産および負債の総価額	(13,466)	13,466	0
金融資産および負債の貸借対照表価額 (ネットティング後)	3,737	(6,129)	(2,392)
ネットティング目的でIAS第32号（同一相手先との デリバティブのネットティング）に適合しない 金融ネットティング商品の価額	(2,134)	2,134	0
担保考慮前のエクスポージャー	1,603	(3,995)	(2,392)
ネットティング目的でIAS第32号に適合しない 金融担保の価額	(1,173)	4,144	2,971
正味エクスポージャー	430	149	579

2023年6月30日現在、デリバティブに係る差入担保額は44億ユーロ（2022年度：45億ユーロ）であった。
BNG銀行の信用格付が3ノッチ引き下げられても、2022年度と同様、当該金額には影響しない。BNG銀行の流
動性ポジションの強さは、担保債務を満たし、担保債務の変動を吸収するのに十分である。

2023年6月30日現在		
	リバースレポ取引 (資産)	レポ取引 (負債)
リバースレポ契約およびレポ契約のネットティング		
貸借対照表上のネットティング前の貸借対照表価額総額	1,264	(1,264)
リバースレポ契約およびレポ契約の貸借対照表上の ネットティング	(1,264)	1,264
金融資産および負債の貸借対照表価額純額	0	0

2022年12月31日現在

	リバースレポ取引 (資産)	レポ取引 (負債)
リバースレポ契約およびレポ契約のネットting		
貸借対照表上のネットting前の貸借対照表価額総額	857	(857)
リバースレポ契約およびレポ契約の貸借対照表上の ネットting	(857)	857
金融資産および負債の貸借対照表価額純額	0	0

利付有価証券 (IBS) 投資

BNG銀行のIBSポートフォリオは、主に流動性管理目的で保有されている。ポートフォリオは、質の高い債券で構成され、その大部分は中央銀行が担保として受け入れる。BNG銀行のIBSポートフォリオ全体は流動性ポートフォリオとALM (資産および負債管理) ポートフォリオに分けられる。流動性ポートフォリオは、譲渡性の高い有価証券のみで構成され、以下の表に示される様々な流動性カバレッジ比率のレベルに従って細分化されている。ALMポートフォリオは、有価証券の種類によって細分化されている。ポートフォリオの動向は毎月報告される。外部格付および内部格付等の要因を用いて、BNG銀行はその動向を個別に監視している。これらのポートフォリオ内の資産は、年2回減損分析を受ける。

各格付カテゴリーについて以下に表示された金額は、残存元本額で、百万ユーロ単位である。貸借対照表価額合計 (減損控除前) も最右列に示されている。価額合計184億7,500万ユーロは、貸借対照表項目「その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産」(90億7,400万ユーロ)、「償却原価で測定される利付有価証券」(87億1,100万ユーロ)および「純損益を通じて公正価値で測定される金融資産」(6億2,700万ユーロ)で認識される。

2023年6月30日現在

	AAA	AA	A	BBB	投資不適格	額面価額 合計	貸借対照表 価額合計
流動性ポートフォリオ							
レベル - 政府 / 国際機関	4,136	3,077	1,283	46	-	8,542	8,043
レベル B - カバード・ボンド	2,149	-	-	-	-	2,149	2,061
レベル A - 政府 / 国際機関	-	58	-	-	-	58	58
レベル A - カバード・ボンド	295	-	-	-	-	295	286
レベル B - 法人	-	-	-	-	-	0	0
レベル B - RMBS	1,502	-	131	-	-	1,633	1,651
	8,082	3,135	1,414	46	-	12,677	12,099
ALMポートフォリオ							
RMBS	16	138	53	-	-	207	207
ABS	37	-	15	16	46	114	113
RMBS-NHG	3,288	43	94	-	-	3,425	3,441
その他	1,063	542	629	448	-	2,682	2,615
	4,404	723	791	464	46	6,428	6,376
合計	12,486	3,858	2,205	510	46	19,105	18,475

2022年12月31日現在

	AAA	AA	A	BBB	投資不適格	額面価額 合計	貸借対照表 価額合計
流動性ポートフォリオ							
レベル - 政府 / 国際機関	3,844	2,739	1,083	46	-	7,712	7,018
レベル B - カバード・ボンド	1,517	-	-	-	-	1,517	1,422
レベル A - 政府 / 国際機関	-	56	-	-	-	56	58
レベル A - カバード・ボンド	275	-	-	-	-	275	266
レベル B - 法人	-	-	-	-	-	-	-
レベル B - RMBS	1,492	-	-	-	-	1,492	1,509
	7,128	2,795	1,083	46	-	11,052	10,273
ALMポートフォリオ							
RMBS	11	168	42	16	-	237	238
ABS	40	-	16	23	48	127	125
RMBS-NHG	3,375	48	101	-	-	3,524	3,536
その他	25	507	521	423	-	1,476	1,493
	3,451	723	680	462	48	5,364	5,392
合計	10,579	3,518	1,763	508	48	16,416	15,665

長期外国エクスポージャー

以下の表は、長期外国エクスポージャーの概要を示している。デリバティブ取引および短期取引（銀行と特定の現金担保を含む。）は含まれていない。表示された金額は、残存元本額で、百万ユーロ単位である。

2023年 6 月30日現在

	AAA	AA	A	BBB	投資不適格	額面価額 合計	貸借対照表 価額合計
国際機関	2,839	-	-	-	-	2,839	2,683
国際開発金融機関	205	-	-	-	-	205	202
オーストリア	-	1,041	-	-	-	1,041	920
ベルギー	-	447	-	118	-	565	593
デンマーク	36	-	-	-	-	36	35
フィンランド	-	274	-	-	-	274	235
フランス	608	1,318	-	-	-	1,926	1,911
ドイツ	590	152	24	-	-	766	691
イタリア	-	-	15	-	46	61	61
ルクセンブルク	483	-	-	-	-	483	425
ポルトガル	-	17	17	-	-	34	33
スペイン	16	121	114	47	-	298	317
英国	295	492	138	484	46	1,455	1,435
米国	23	-	-	-	-	23	22
合計	5,095	3,862	308	649	92	10,006	9,563

2022年12月31日現在							
	AAA	AA	A	BBB	投資不適格	額面価額 合計	貸借対照表 価額合計
国際機関	1,554	-	-	-	-	1,554	1,405
国際開発金融機関	-	-	-	-	-	-	-
オーストリア	-	896	-	-	-	896	754
ベルギー	-	387	-	122	-	509	492
デンマーク	36	-	-	-	-	36	34
フィンランド	-	260	-	-	-	260	210
フランス	418	1,210	-	5	-	1,633	1,573
ドイツ	581	130	16	-	-	727	641
イタリア	-	1	16	-	48	65	63
ルクセンブルク	499	-	-	-	-	499	420
ポルトガル	-	18	19	-	30	67	66
スペイン	11	150	101	66	-	328	349
英国	275	457	130	458	51	1,371	1,397
米国	73	-	-	-	-	73	61
合計	3,447	3,509	282	651	129	8,018	7,465

投資不適格項目（すなわち、格付BBB-未満の項目）は、英国およびイタリアにおけるエクスポージャーで構成される。イタリアのエクスポージャーは、住宅ローン担保証券（RMBS）取引で構成される。英国の投資不適格エクスポージャーは、インフラ、教育、エネルギーおよびヘルスケアの分野での少数の民間プロジェクト・ファイナンスのスキームに関係する。ポルトガルのエクスポージャーは、貸付金の返済後はゼロである。長期外国投資不適格エクスポージャーの公正価値合計は8,200万ユーロ（2022年度末：1億1,600万ユーロ）であった。

オフバランスシート契約

偶発資産

オランダ中央銀行（DNB）は、内部手続上の誤りにより、2020年6月24日から2021年6月23日までの期間に関連する税引前で5,700万ユーロのTLTRO第三弾の優遇金利を、是正措置にもかかわらず、BNG銀行に付与しなかった。BNG銀行は、法的助言を受けて、このDNBの決定に対して訴訟を提起した。2023年上半期に、BNG銀行は敗訴し、控訴することを決定した。

偶発債務

これは、BNG銀行が第三者のために保証を発行した取引から生じる一切の契約債務を含む。これらのいわゆる信用状は、預金または公的機関の副保証によりカバーされる。BNG銀行は、借主が債務不履行の場合に支払う必要がある原貸付元本額で偶発債務を計上している。

	2023年6月30日現在	2022年12月31日現在
偶発債務	478	489

取消可能信用供与契約

これは、取消可能な当座勘定信用供与契約に帰属する一切の契約債務を含む。

	2023年 6 月30日現在	2022年12月31日現在
取消可能信用供与契約	7,050	6,248

取消不能信用供与契約

これは、貸付金および前渡金を供与することになりうる一切の取消不能な契約債務を含む。以下の表で、これらの契約は、与信枠ならびに契約済み貸付金および前渡金の将来の実行に区分される。

	2023年 6 月30日現在	2022年12月31日現在
与信枠の未使用部分に関する基本契約	2,024	2,031
将来実行予定の契約済み貸付金および前渡金	2,565	2,396
合計	4,589	4,427

貸借対照表日以降の事象

貸借対照表日以降、中間報告書の数値または開示に調整が必要な報告すべき事象はない。

ハーグ、2023年 9 月 1 日

法定取締役会

Gita Salden (CEO)

Olivier Labe (CFO)

Cindy van Attevelde-Machielsen (CRO)

監督取締役会

Huub Arendse、会長

Jan van Rutte、副会長

Karin Bergstein

Johan Conijn

Marlies van Elst

Leonard Geluk

Femke de Vries

第 3 【外国為替相場の推移】

(1) 【当該半期中における月別為替相場の推移】

該当事項なし

(2) 【最近日の為替相場】

該当事項なし